

# 年末年始を見据えた国民の皆様への呼びかけ（案）

- 現時点で「同時流行（又は新型コロナ／インフルの感染拡大）により医療のひっ迫が懸念される状況」にはないが、年末年始の感染状況によっては、一時的に発熱外来にかかりにくい状況が生じること等も懸念される。
- このため、従来の呼びかけの段階は維持しつつ（※）、**重症化リスクが低い方（高齢者、基礎疾患を有する方、妊婦などと小学生以下の子ども以外の方）は、喉の痛みや発熱などの症状が出た場合、自ら抗原定性検査キットを使った検査をしていただくことや、陽性の場合、軽症であれば、地域の健康フォローアップセンターに登録して自宅療養を行うことを、より積極的に呼びかけていく。**
- また、冬場は救急医療も含め医療提供体制に負荷がかかることに加え、特に年末年始は医療機関の診療体制が通常と異なることを踏まえ、**あらかじめの救急車利用マニュアルの確認等を呼びかけていく**（資料5を活用）。
- 感染拡大により医療のひっ迫が懸念される状況が生じた場合、より強い呼びかけとして、「医療機関が速やかに受診できない状況が発生しており、重症化リスクの高い方を守るため、重症化リスクの低い方に一層の御協力をお願いしたい。ただし、我慢しすぎて重症化することも懸念されるため、体調変化時など迷った時は、相談窓口躊躇なくご相談いただきたい」旨や、「救急外来や救急車の利用は、真に必要な場合に限ることについて、より緊急性の高い方を助けるために、ご協力をお願いしたい」旨呼びかけ（資料4を活用）。

※ 現在、同時流行への備えとして、「ワクチン接種の検討」「体調不良時に備えた、解熱鎮痛薬や国が承認した新型コロナ検査キットの早めの購入」「電話相談窓口などの連絡先確認」をお願いしつつ、重症化リスクに応じた外来受診・療養を呼びかけている。

（参考）「新型コロナ・インフルエンザの同時流行を見据えた感染状況に応じた国民の皆様への呼びかけ」より抜粋

感染が落ち着いている状況	感染者の増加が見られ同時流行（又は新型コロナ／インフルの感染拡大）の兆しが見える状況	同時流行（又は新型コロナ／インフルの感染拡大）により医療のひっ迫が懸念される状況
<b>[コミュニケーションの狙い]</b> 事前準備の促進： <ul style="list-style-type: none"> <li>➤ ワクチン接種の勧奨</li> <li>➤ 検査キット・解熱鎮痛剤の購入</li> </ul>	<b>[コミュニケーションの狙い]</b> 重症化リスク別の行動喚起： <ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 高リスク者：速やかな受診</li> <li>➤ 低リスク者：自己検査・自宅療養</li> </ul>	<b>[コミュニケーションの狙い]</b> 重症化リスク別の行動喚起徹底： <ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 高リスク者：速やかな受診</li> <li>➤ 低リスク者：自己検査・自宅療養</li> </ul>
<b>[提供情報のポイント]</b> ➤ これまでにない感染規模の想定 ➤ 医療ひっ迫のリスク	<b>[情報提供のポイント]</b> ➤ 重症化リスクが低い方は速やかな自宅療養を案内、発熱外来は高齢者等の重症化リスクが高い方を案内	<b>[情報提供のポイント]</b> ➤ 発熱外来は高齢者等の重症化リスクが高い方へ重点的に対応